

# ラジオNIKKEI 月曜日16時～

## 『キラメキの発想』 資料

2024年5月20日放送分

番組では個人投資家・トレーダー向けに相場を大きく動かしそうな内部・外部要因について、OPトレーダーの視点から、さまざまなファンダメンタル指標やテクニカル指標などを用いて分析していきます。なお、主宰しているオプション倶楽部の詳細については倶楽部サイト「[optionclub.net](https://optionclub.net)」をご覧ください。「OP売坊戦略」で検索！



OP売坊



# 24年6・7月限SQ日までの注目イベント (P.2)

## <米国>

5月22日：FOMC議事録

6月07日：雇用統計（5月分）

**6月12日：FRB政策金利**

6月12日：消費者物価指数（5月分）

6月13日：生産者物価指数（5月分）

7月05日：雇用統計（6月分）

## <欧州・英国>

6月06日：欧州政策金利

6月20日：英国政策金利

7月18日：欧州政策金利

## <日本>

5月31日：消費者物価指数（東京5月分）

6月14日：メジャーSQ

**6月14日：日銀政策金利**

6月28日：消費者物価指数（東京6月分）

※第二金曜日（原則）は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りとなる日です。

7月27日にOPトレードセミナーを開催予定です

5月15日発表の米4月分CPI（消費者物価指数）は横ばいでした。5月分CPIも現時点では横ばいが予想されています。一部メディアは「インフレ“鈍化”による利下げ期待台頭」と報じていますが、米大統領選挙への忖度的記事があるのでしょうか

### 2024年5月

20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

### 2024年6月

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

### 2024年7月

				5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



- 日経225ミニオプションのSQ日
- 日経225ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
- メジャーSQ 日経225先物・ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
- 祝日取引実施日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。  
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

※OP売坊公式X (旧Twitter) @OP49431790でもニュースについてつぶやいています。



# OP売坊の**グレイ・リノ** (P.3)

サイは普段おとなしいが怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 気候変動による食料価格高騰・食料危機
- 🐘 地政学的リスクの複雑化 (ウクライナ・中東・台湾など)
- 🐘 ウクライナ含む世界の難民増
- 🐘 日米欧中の経済政策不確実性上昇・債務増・増税懸念
- 🐘 2024年米大統領選 (世界的な選挙イヤー)
- 🐘 米国の不動産バブル崩壊懸念とインフレ再加速
- 🐘 各国格付引き下げ懸念と基軸通貨「米ドル」の没落
- 🐘 中国の不動産バブル崩壊と経済崩壊の懸念
- 🐘 日本の2024・25・30・40年問題と人口減加速
- 🐘 自民党の裏金問題と総裁選 (2024年秋)
- 🐘 **政府・日銀介入後の為替相場**
- 🐘 日本の金融システムなどへの不安
- 🐘 新世界秩序
- 🐘 **バフェット指数 (株式時価総額÷名目GDP) の異常値**  
 米国 : 188.7 (5月15日概算) ← 189.3 (3月28日概算)  
 日本 : 165.6 (5月14日概算) ← 178.0 (3月21日概算)



米国では大統領選挙を前に各所 (政府・地銀・個人等) で財務状況が悪化してきています。しかし、政策金利を引き下げると、インフレ懸念につながりかねません。一方、インフレ退治のために金利を引き上げると、金融不安や国債格付引き下げの危険性を高める可能性があります

など

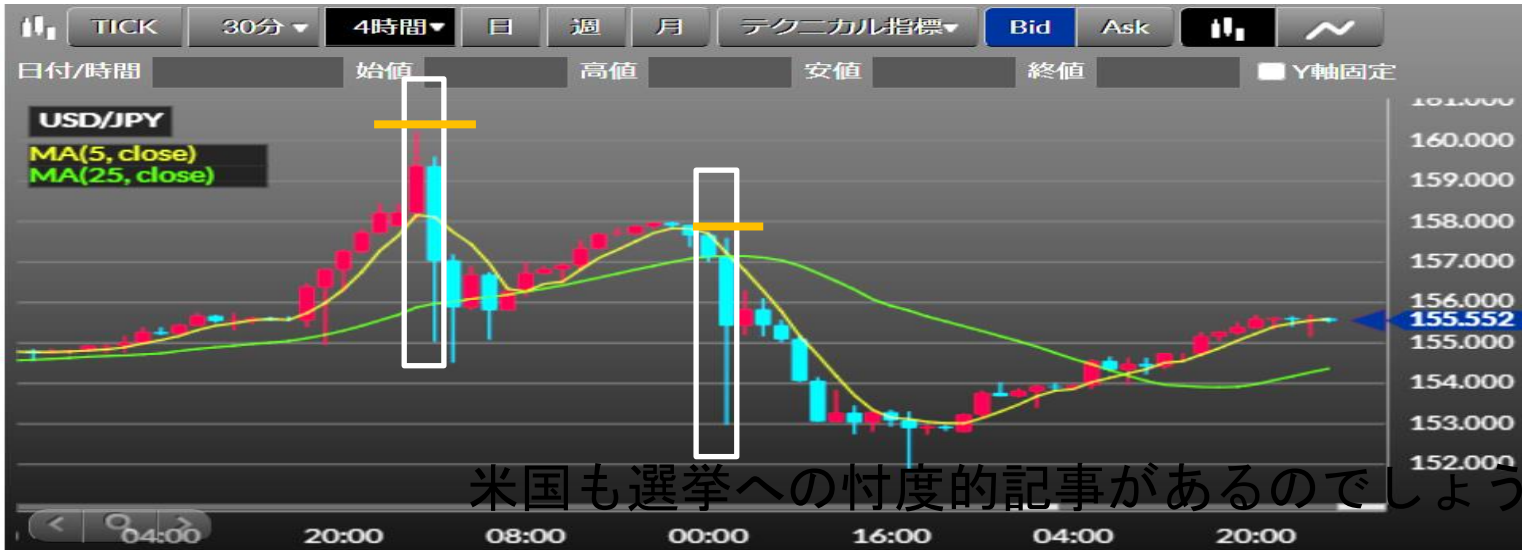
グレイ・リノ (灰色のサイ) とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。





# IMFの為替介入ルール (P.4)

政府・日銀の覆面介入があったとき（4月29日と5月2日）のドル円推移（4時間足）



出所) DMM証券

## IMFの為替介入ルール

- 6カ月に3回まで
- 3日以内は1回とカウント

IMF（国際通貨基金）は「介入には、ある程度の歯止めが必要だ」ということで、このようなルールを作ったのでしょうか。このルールを破ると財務省の神田財務官は国際社会から大きな批判を浴びるかもしれませんが、国際協調介入も基本は、このルールに準じると考えていますが、例外的措置もあるかもしれません





# ドル円が年末に170円も射程圏内に (P.5)

ドル円



現状では、米バイデン政権は政策金利の引き下げを望んでいないとみています。インフレ上昇で跳ね返ってきますし、現在の株高もあるからです。したがって、大きな流れとして9月まで米国債の利回りが一段低下するとは考えていません。そのため円安基調が続くとすると抵抗線上限は、年末170円近辺となります。



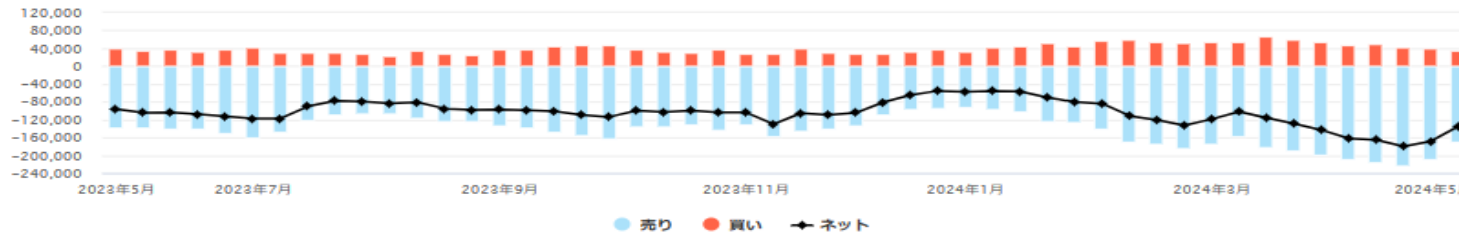
# 投機筋の円売りには、まだまだゆとりが (P.6)

## IMM (CME国際金融市場部門) 日本円通貨先物市場における大口投機家の建玉推移

更新日時: 5月17日 8:03

通貨	売り	買い	ネット	前回は	増減率(%)
日本円	-169,912	34,990	-134,922	+33,466	↑19.9

日本円/米ドル



カナダドル	-102,166	32,945	-69,221	-6,020	↓9.5
ポンド	-73,590	51,777	-21,813	+7,177	↑24.8
豪ドル	-113,996	49,480	-64,516	+18,719	↑22.5
NZドル	-30,251	19,060	-11,191	-2,640	↓30.9
スイスフラン	-51,024	9,237	-41,787	-1	0.0
ユーロ	-166,004	170,594	4,590	+11,367	↑167.7
メキシコペソ	-25,252	137,564	112,312	-6,733	↓5.7

出所) <https://www.central-tanshifx.com/market/indicator/immposition.html>

枚数ベースでは投機筋は過去最高水準の売り越しです。しかし、この円通貨先物の取引単位は1枚1250万円の円建てです。したがって、円安が進めば、同じドル金額で、より多くの枚数を売れることとなります。また、ファンドが2倍になれば、売れる枚数も2倍となり得ます



取引単位 (1枚)	ドル円レート	ドルベースの1枚	1000万ドルで		S&P500	正味建玉
1250万円	100円	\$125,000	80枚	2016年8月	2170	+約7万枚
1250万円	125円	\$100,000	100枚	2022年4月	4132	▲約14万枚
1250万円	155円	\$80,645	約124枚	2024年5月10日	5223	▲16.8万枚



# 政府・日銀がドル円に介入する確率はかなり低い (P.7)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
米国		12:FOMC	31:FOMC	ジャクソンホール	18:FOMC		7:FOMC 5:大統領選挙
日本		14:政策金利	31:政策金利 神田財務官任期? ADB総裁狙い? 浅川総裁2020/1-		20:政策金利 自民党総裁選挙	31:政策金利	

## 介入

- 介入は6カ月で3回とすれば、10月末まで残り2回  
米大統領選が近づくと動きにくくなる
- 介入用の米ドルがない  
保有する米国債の売りを米国は容認できない
- 日米韓の共同声明は「介入をするな」というメッセージだった？  
それでも介入したので、イエレン議長は3回も介入をけん制

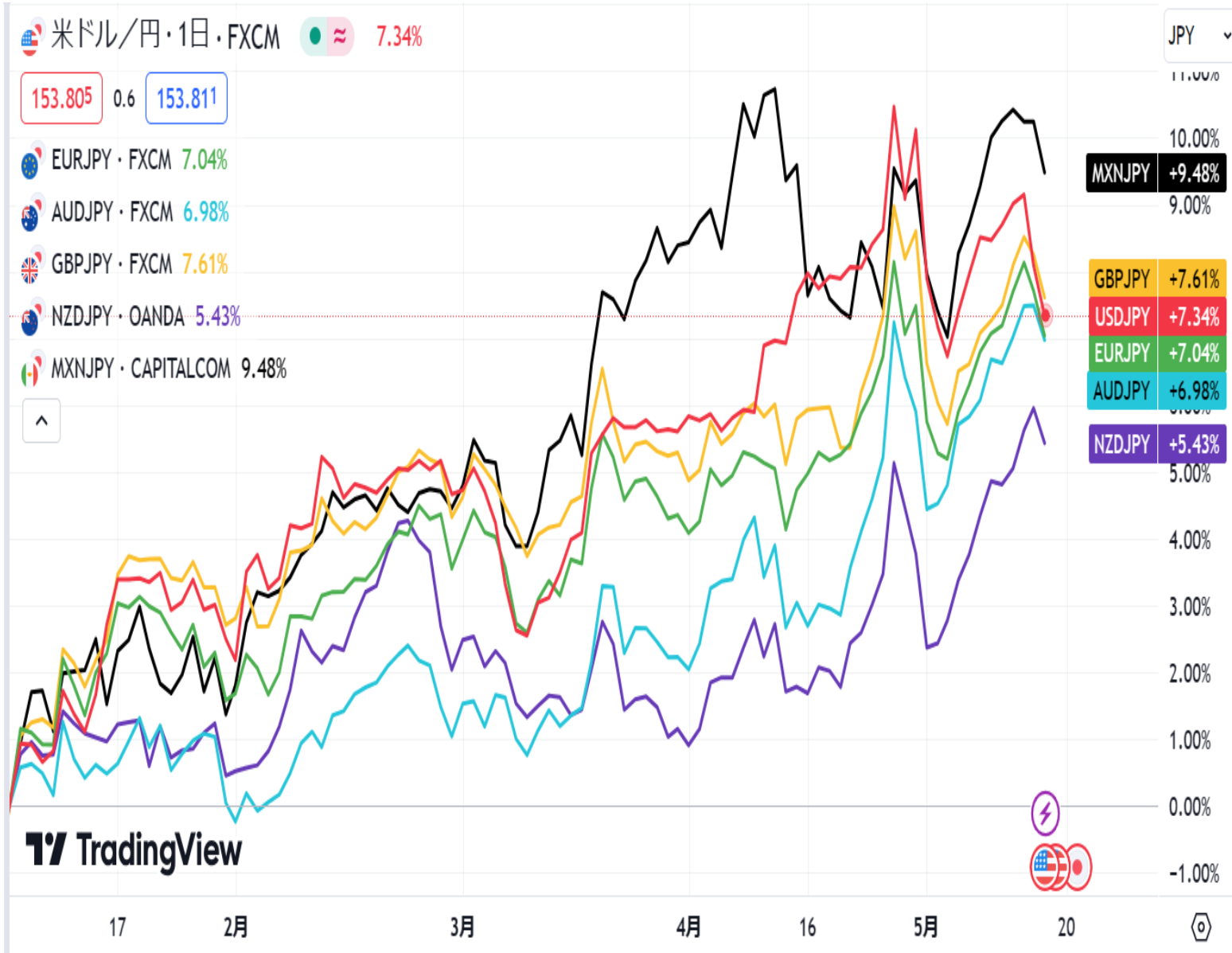
米大統領選が近づくと政府・日銀の為替介入がしづらくなるとみているのは、大統領選挙直前での為替相場の乱高下を米国が望んでいないとみるからです





# リスクの高いドル円よりも介入の無いクロス円を (P.8)

## 年初をゼロとした各クロス円通貨ペアの変動率推移



欧州や豪州の通貨のほうが米ドルよりも強いと予想するのであれば、クロス円（米ドル以外の通貨と日本円のペア）投資も有効でしょう。高金利通貨でトルコリラや南アランドではなく、メキシコペソを取り上げたのは相対的にリスクが低いと考えているからです。米国の隣国という貿易上のメリットもあります





# クロス円通貨バスケットで低リスク高リターンを (P.9)

## USDとバスケットB (USD+EUR+NZD+MXN×10) とバスケットA (バスケットB+GBP+AUD) の成績推移



	バスケットA	バスケットB	USDJPY
リスク	9.19%	9.23%	10.44%
リターン	10.68%	11.69%	11.80%
リターン/リスク	1.162	1.267	1.131

現在は米ドル離れも起こっているとみています。今後もドルが最強通貨である可能性が低くなっているわけです。ドル安外貨高の場合のリスクをクロス円もバスケットに入れることで分散できます



## 各通貨ペアのSWAP金利 (スワップポイント) 表

5月17日	買SWAP金利(DMM証券)		SWAP利回り、年率		証拠金	為替レート
	1日分	x 365	(対、額面)	(対、証拠金)		
USDJPY	225	82,125	5.27%	132%	62,284	155.710
EURJPY	196	71,540	4.23%	106%	67,707	169.268
GBPJPY	277	101,105	5.11%	128%	79,112	197.779
AUDJPY	127	46,355	4.45%	111%	41,693	104.233
NZDJPY	143	52,195	5.46%	137%	38,207	95.518
CADJPY	150	54,750	4.79%	120%	45,761	114.402
CHFJPY	75	27,375	1.60%	40%	68,524	171.310
MXNJPY	27	9,855	10.52%	263%	3,749	9.372
日本						

5月17日	SWAP金利(DMM証券)		SWAP利回り、年率		証拠金	為替レート
	1日分	x 365	(対、額面)	(対、証拠金)		
USDCAD(買)	18	6,570	0.42%	11%	62,283	1.36120
EURGBP(売)	55	20,075	1.19%	30%	67,705	0.85579
AUDNZD(売)	28	10,220	0.98%	25%	41,545	1.09041

バスケットB	834	304,410	5.92%	148%	205,686	
--------	-----	---------	-------	------	---------	--

利回り			備考	10年債	直近			次回CPI	備考
1か月物	3か月物	1年債		実質金利	10年債	CPI	発表日	発表予定日	
5.378%	5.404%	5.137%		1.02%	4.42%	3.4%	5月15日	6月12日	
NA	3.671%	3.345%	ドイツ	0.32%	2.52%	2.2%	4月29日	5月29日	ユーロ圏
5.341%	5.261%	4.682%		0.96%	4.16%	3.2%	4月17日	5月22日	
NA	NA	4.237%		0.79%	4.29%	3.5%	4月24日	5月29日	月次速報
5.640%	5.660%	5.353%		0.66%	4.66%	4.0%	4月17日	7月17日	
5.015%	4.958%	4.682%		0.76%	3.66%	2.9%	4月16日	5月21日	
1.280%	1.170%	1.280%		-0.69%	0.71%	1.4%	5月2日	6月4日	
11.563%	11.622%	11.327%		5.62%	10.04%	4.6%	5月9日	6月7日	
0.010%	0.033%	0.160%		-1.75%	0.95%	2.7%	4月19日	5月24日	全国

### 逆イールド

注) 国債のレートやCPIは随時変動・変更されますので、常に最新のデータをご確認ください。

AUDNZDは松井証券

先週週末現在

バスケットB (USDJPY+EURJPY+NZDJPY+MXNJPY x 10)

出所) TradingView (円建て・2024年5月17日現在)



# OP売坊が実践している主な戦略分野 (P.10)

1

## 日経225OP基本戦略

225CALL売りを主戦略にグreek（リスク指標）を使わずに、安全重視のトレードで毎月コツコツと安定的な収益が出せる「運用者」になることが目標です。

2

## 日経225OP応用戦略

相場観に基づいた組み合わせ戦略でOPトレードの練度を高めます。OPと証拠金の特性を理解した後は、OPの奥深さと醍醐味を楽しめる達人になることが目標です。

3

## 米国株OP戦略

現物株・ETFの特性を生かしたホイール戦略を中心に戦略を中心に、証拠金の目途が日経225OPに比べてつきやすい米国株OPで運用の幅を広げることが目標です。

4

## FX-OP戦略

スワップポイントの優位性を生かしたカバード戦略を中心に、大局的・局所的に運用収益の改善を図れるような思考を磨いていくことが目標です。また、その他の戦略への選択肢も広めていきます。

5

## その他

ミニ先物・マイクロ先物を利用したNTトレードやCFDを利用したロング=ショートなど、市場分析の結果からスプレッド戦略の機会を見出せるようになることが目標です。

### 【FX-OP知識編】

第1回 外国為替市場

第2回 外国為替取引の種類とFX-OP

第3回 FX-OP取扱会社

第4回 FX市場分析

第5回 FX-OP価格のシミュレーション

### 【FX-OP戦略編】

第1回 ターゲット買い戦略

第2回 カバードCALL戦略

第3回 ゼロコストOP戦略

第4回 ストラングル売り戦略

第5回 ドル円の戦略例

FX-OPは証拠金の変動が相対的に小さく、計算式が単純で予見しやすいことが最大のメリットでしょう。また、決済方式も受渡と差金を選べますので、資金管理が、かなり楽です





# FX-OPのストラングル売り戦略例 (P.11)

## USDJPY (米ドル円レート) とHV (ヒストリカル・ボラティリティ)

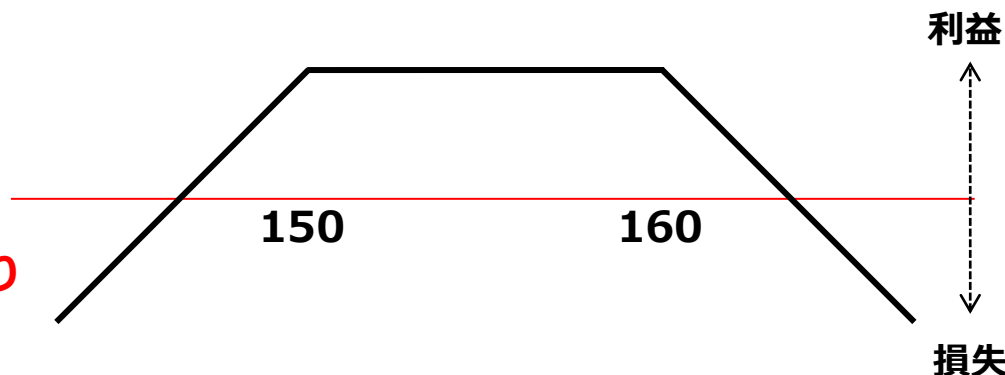


〇月〇日まで為替レートが、あるレンジ内での動きになると予想すれば、そしてボラティリティが高いことでOP価格が高めになっている状況であれば、〇月〇日より前を期限としたOTM (アウト・オブ・ザ・マネー = その価格でOPの権利を行使しても価値がない権利行使価格) のCALLとPUTの売りから構成される「ストラングル売り」を検討できます

対象市場がレンジ内で推移し、ボラティリティが縮小するとみた場合、  
→OTM-PUT売り+OTM-CALL売り=ストラングル売り戦略を検討できる

例) USDJPYの  
上値を160円  
下値を150円  
と想定した場合、

USDJPYの160CALLを売り  
USDJPYの150PUTを売る



出所) TradingView (2024年5月18日)



## OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

# 売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

補足Q&A記事やOPトレードに関する情報などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
  - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
  - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起これるのは、なぜですか？
  - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
  - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



**登録**はオプション倶楽部のポータルサイト  
<https://www.optionclub.net/>  
でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部 検索



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

# 水曜22時からパンローリングチャンネルで！！

3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



**第一週**  
政治経済イベント分析



**第四週\***  
異常値分析



**第二週**  
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ  
OPワンポイント解説



※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

**第三週\***はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます。

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>

---

**最後までご清聴、誠にありがとうございました。**

**OP売坊ブログ『実践オプション教室』**

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

**OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』**

<https://twitter.com/OP49431790>

**Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.**

**All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.**

## 免責事項

---

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。